平成 29 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

方向性	1 くらしを守る
重点施策	2 移動しやすく便利なまちをつくる
施策方針	1 移動しやすい公共交通体系の整備

担当課名	建設部　都市計画課	
予算科目 会計	01	一般会計
款	02	総務費
項	01	総務管理費
目	12	生活交通対策費

事業名	地域公共交通再編事業 公共交通の利便性向上	事業開始年度	平成　22　年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	廿日市市地域公共交通網形成計画（平成28年3月）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の（何の）ために	【目指す姿・意図】（いつまでに、どういう状態に）
	公共交通による移動手段の確保、利便性の向上を必要とする人	移動しやすく利便性の高い、持続可能な公共交通体系を整備する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所（職員）の役割	関係団体（パートナー）	関係団体（パートナー）の役割
市	・地域公共交通網形成計画に基づきバス路線再編等を実施 ・廿日市市公共交通協議会の運営	交通事業者 地域	行政とともに再編に取り組む。

3 平成 29 年度 決算 （事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）

・廿日市市公共交通協議会の開催（公共交通施策に係る関係機関の合意形成を図る）
　構成員：学識経験者、住民代表、交通事業者、国、県、近隣市等（５回開催：会議招集３回、書面審議２回）
・沿岸部自主運行バス実証運行の継続
　廿日市さくらバス、おおのハートバスの実証運行を継続した。
・地域公共交通再編実施計画の策定
　「廿日市市地域公共交通網形成計画」に基づいて、路線再編に伴う運行内容等を定めた「廿日市市地域公共交通再編実施計画」を策定した。
・交通系ＩＣカードシステム推進支援
　パスピー機能導入（全国10カード片利用、直通乗継割引、共通定期券）の支援を行った。

・事業費関連

【歳入】	地域公共交通再編推進事業補助金	1,914,695	
	生活交通路線維持費（県）補助金	4,635,000	
	自主運行バス関係自治体負担金	996,086	佐方方面の運行に係る広島市負担金
	計	7,545,781 円	

【歳出】	公共交通協議会事務費等	104,454	
	地域公共交通再編実施計画策定支援業務委託料	3,960,360	
	廿日市さくらバス運行負担金	34,000,000	運行：広島電鉄㈱
	おおのハートバス運行負担金	27,000,000	運行：㈱ささき観光
	交通系ＩＣカードシステム推進事業費補助金	774,437	
	計	65,839,251 円	

コスト情報（円）

項目		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算①	①のうちH28から繰越	H29からH30へ繰越
直接事業費 A		62,258,603	65,839,251		
財源内訳	国庫支出金		1,914,695		
	県支出金	5,232,000	4,635,000		
	借入金（市債）				
	その他（使用料など）	1,005,949	996,086		
	市（市税など）	56,020,654	58,293,470		
人件費（按分）B		1.75 人 14,701,750	1.75 人 14,745,500		
総事業費（A+B）		76,960,353	80,584,751		
単位コスト換算 ①	人口（4月1日現在）	116,947 人	117,157 人		
	市民1人当たり	658	688		
単位コスト換算 ②					

目標到達度

	活動及び成果指標	単位	H28 実績値	H29 目標値	H29 実績値	H32 目標値	備考
活動	市単独補助路線及び自主運行バスの路線数	路線	16	16	16	17	
成果	市単独補助路線及び自主運行バスの利用者数	人	405,764	385,000	409,454	400,000	